



公明党千葉市議会議員団(稲毛区) 桜井ひでお 議会報告

さくら通信 No.7

千葉市議会議員
(公明党)桜井ひでお
議会報告
「さくら通信」第7号
2020年春

令和2年第1回定例会での活動を通して、千葉市政の「いま」をお伝えします。

新型コロナウィルス感染症に影響を受けた全ての関係者の皆様にお見舞い申し上げます。

特に全国的に学校が休校となって以降は、千葉市の学校現場の動向が注目を集めました。そこで、今回のさくら通信では、千葉市議会第1回定例会における予算審議を通して、千葉市の市立小中学校についてお伝えします。

新型コロナウィルス対策については、感染が収束したのちに検証いたしますが、ここでは以下の千葉市が案内している相談先を紹介いたします。（3月19日現在）

一般市民向けの相談窓口……………**043-238-9966** 午前9時から午後5時まで(土曜日、日曜日、祝日も含む)
中小企業・個人経営者の相談窓口………**043-201-9506** 平日(祝日を除く)9時～17時<随時受付>

●学校の給食室にエアコン設置を推進！



猛暑の際に、最も過酷な場所の一つが学校給食室です。私が視察した稲毛区内のある小学校では、連日400名分以上の給食を調理していました。私は前職で、100名分程度の給食調理を経験しましたが、それでも、その際の室内温度はすさまじいものでした。

昨年9月の代表質問や会派の予算要望をとおし、食品衛生と勤務環境の適正管理の面から学校給食室のエアコン設置を急ぐように求め、今年度に7校、令和2年度には11校に設置されることになりました！

声を届けていただいた現場の方々に感謝申し上げます。



●地域拠点でもある学校体育館を安全に！

昨年の被災直後に、学校や公民館の現場視察をし、令和元年度内に工事が完了するよう分科会で求めたところ、市からは工事が完了する旨の答弁がありました。



Before → After



昨年第4回定例会で、小学校体育館に冬の避難生活を想定したスポットエアコンの導入を求め、令和2年度予算により、モデル事業がスタートします。また、一昨年秋に稲毛区内の小学校で地域の運動会が行われた折りに、体育館の雨漏りがひどいと、住民の方から私のもとに声が届けられました。市に修繕を求めるところ、本年、工事が無事に終了し、生徒や地域住民から喜びの声が上がるなど、体育館の整備が着実に進められています。



●いじめ等に「法」「専門家」で対策！

学校が直接、弁護士に法律相談を受けられるスクールロイヤー制度が、令和2年度から導入されます。

私は、いじめ等の困難な事案を法律の視点から解決するように、平成30年第1回定例会で、同制度の導入を千葉市議会で初めて提案しました。

令和2年度予算により、心の問題の専門家であるスクールカウンセラー、家庭問題の専門家であるスクールソーシャルワーカー、そして部活動指導員(10人から55人へ)、専科教員(20人から60人へ)、スクールサポートスタッフ(3人から18人へ)が拡充されるなど教育体制が強化されます。

●ボッチャを活かしたまちづくりを！

千葉市立小中学校では、体育や道徳の授業にパラスポーツを導入するなど、パラスポーツの普及、インクルーシブ教育に取り組んでいます。

令和2年度予算によって、5月までにボッチャ用具の全小学校への整備や養護学校等とのボッチャ交流会、全市挙げてのボッチャ市民大会(令和3年2月20日予定)が行われます。

私は、平成28年第4回定例会以降、市議会で初めてボッチャを紹介し、この障がい者も健常者も一緒に「ガチ」で勝負し、合理的配慮を自然に学べるボッチャを活かしたまちづくりを訴えて参りました。

稲毛区では、本年1月に他区に先駆けて、区主催の「いなげボッチャカップ」を実施しており、稲毛区から、この機運を是非盛り上げていきたいと思います！

